

同窓会だより



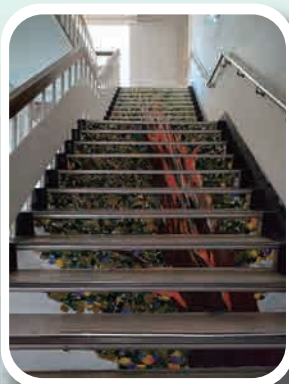
埼玉県立朝霞高等学校同窓会

同窓会だより 第20号

発行／埼玉県立朝霞高等学校同窓会
〒351-0015
埼玉県朝霞市幸町3-13-65
TEL 048-465-1010
FAX 048-460-1013

編集・印刷／同窓会事務局

〒121-0831
足立区舎人3-11-26 E P S
03-5839-3456(代)



第63回 体育祭 2025年5月29日(木)開催

contents

会長・校長挨拶 朝高は今	2p
あの頃は	4～5p
寄付者名簿	6p
会計報告	7p
卒業生近況	8p

同窓会総会の開催

- 日時：令和7年9月28日(日)
午後14時
「けやき祭」一般公開日
- 場所：母校大会議室
- 議題：会計報告、今後の活動について



「同窓会だより第20号」の「購読協力金」として、1口2,000円を任意にお願いしております。同封の振込用紙を使って、郵便局もしくはコンビニエンスストアにてお支払いください。2,000円以上の「購読協力金」をお考えの方は、下段の振込用紙を使って郵便局にてお支払いください。なお、振込用紙紛失の場合は【00120-9-734449 埼玉県立朝霞高等学校同窓会】まで。

<http://www.asaka-h.com/>



同窓会だより発行にあたり



同窓会会長

十三期生 高橋 豊

豊

会員の皆様、日頃から母校へのご支援、同窓会・クラス会・各部OBORG会などへのご協力、心より御礼申し上げます。同窓会だより第二十号をお届けします。

渡邉俊夫前会長よりバトンを受け取って三年目になりますが、三年に一度の同窓会だよりには初登場となります。今年の三月に六十期生を迎え入れ、同窓会の会員も二二、七二九人になりました。コロナの制約から解き放たれ、母校も日常の活動や行事に対する取り組みに以前の活気が戻ってきたようです。ま

ご挨拶



埼玉県立朝霞高等学校長

伊藤 孝人

本年四月に第十九代校長として着任いたしました、伊藤孝人と申します。同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動の推進と教育環境の整備に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

四月八日の入学式では、全日制課程の六十期生三一九名、定時制課程の六十期生十六名が新たに本校の一員となりました。新入生には、朝霞高校の歴史に新たな一ページを刻んでくれることを期待しています。

た、大規模改修のおかげで快適な学校生活を送れる環境が整えられてきていると感じます。コロナ禍を通じて、今まで当然だったことへの見直しもすすみ、PTAへの参加も任意となるようです。同窓会にも、その波が来るのは必至と考えるとその存在意義が問われます。不要不急という言葉からすると、同窓会は絶対になくしてはならないものではありません。しかし、あるといいな、あつてよかった、というものが世の中にはたくさんあると思います。同窓会も、その一つになれるよう役員一同尽力していきたいと思っています。そして、三年に一度の同窓会だより発行を継続できるようみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

私は十三年前に本校定時制課程で教頭として勤務しておりましたが、ちょうど五十周年を迎えた時期で、和光市民文化センターで式典が盛大に行われ、定時制課程の生徒も職員も一緒に参加したことを覚えています。

現在、六十三年目を迎えた校舎も老朽化が進んでおりますが、昨年度から大規模改修が始まり、特別教室棟の工事が行われ、一部分ではありますが、私が勤務していた当時に比べ、廊下等が大変きれいになりました。今年度は管理棟の工事が行われ、敷地内の一部が封鎖されるなどご不便をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、本校に着任し、始業式で校歌を歌った際、かの大詩人 谷川俊太郎さん（一九三一―二〇二四）が作詞をされているこ

集にあたり教え子である後輩が原稿を寄せてくれました。こういう形で連絡が取れるのは、教師冥利に尽きる至福のできごとです。また、別の卒業生からは、こう言われました。「この前会った方は朝霞高校の卒業生で、在学してた時の生徒会長がウルトラクイズに出たと言っていました。先生ですすよね」卒業生が二二、七二九人もいるのですから、世の中に朝霞同窓生という目に見えないネットワークができていく気がしました。これからも、多くの方に朝霞同窓生としての出会い、再会があることをお祈りいたします。

種別	大学	短大	看医	専門	就職	その他
人数	261	3	10	14	3	25
割合	82.6	1	3.2	4.4	0.9	7.9
種別	大学	短大	看医	専門	就職	その他
人数	250	3	12	18	0	30
割合	79.5	0.9	3.8	5.8	0	9.6
種別	大学	短大	看医	専門	就職	その他
人数	257	4	5	27	6	48
割合	74.1	1.2	1.4	7.8	1.7	13.8

卒業生の進路実現状況

令和5年
卒業生

令和6年
卒業生

令和7年
卒業生



部活動情報

陸上部

R5北海道高校総体・U-18日本陸上競技選手権 男子三段跳び 出場
R5学校総合体育大会県予選 男子三段4位 女子三段5位 女子5000m競歩6位
R5学校総合体育大会地区予選 男子総合6位 R6新人西部地区予選 男子総合8位

野球部

第106回 全国高等学校野球選手権 埼玉大会 3回戦進出
R6秋季高等学校野球大会 南部地区予選 代表決定戦進出
R6新座市長杯争奪硬式野球大会 第5位

水泳部

R6関東高等学校選抜水球競技大会 出場
第78回国スポ関東ブロック大会(水球競技女子)5名出場
R6全日本ユース(U16)水球競技選手権大会2名出場 第7位
R6県公立校水泳競技大会 男子総合8位、女子総合5位

卓球部

R6男子 団体地区3位、団体複県大会出場
R6女子 団体地区3位、団体複県大会出場

剣道部

R5関東予選・高校総体予選 男子団体県ベスト8
R6関東予選・高校総体予選 男子団体県ベスト16
R6西部支部大会 女子団体第3位

サッカー部

R6学校総合体育大会 埼玉県予選出場
R6全国高校サッカー選手権大会 埼玉県2次予選出場 ベスト31
R6西部支部サッカー新人大会 第3位

ラグビー部

新人戦西部地区予選 第5位 西部地区7人制大会 準優勝
西部地区1年生大会 第4位 ベストフィフティーン1名 優秀選手2名
オール埼玉C1名 西部地区選抜選手2年生3名 1年生2名

男子ソフトテニス部

関東大会県予選会 団体県ベスト16
学校総合体育大会県予選 団体県ベスト16
埼玉県新人戦地区予選 団体ベスト8、個人ベスト32、40
(県大会2ペア進出)

女子ソフトテニス部

関東大会県予選会 団体ベスト32 個人ベスト128
学校総合体育大会県予選 団体ベスト16 個人ベスト128
埼玉県新人大会県予選 個人ベスト64

男子ハンドボール部

関東大会埼玉県予選 県ベスト32
インターハイ県予選 県ベスト8
新人戦西部支部大会 優勝 同県大会ベスト16
西部地区選抜選手 3名選出

女子ハンドボール部

関東大会埼玉県予選 県ベスト16
インターハイ県予選 県ベスト16
新人大会西部支部大会 優勝 同県大会 ベスト16
西部地区選抜選手 4名選出

男子バスケットボール部

R6関東予選・全国高校総体予選県大会出場
R6新人戦県大会出場(1,2年新チーム)
他 Kカップ・狭山キャンプ・WRC等カップ戦参加多数

女子バスケットボール部

R6関東予選県大会 ベスト16
R6全国高校総体予選県大会出場
R6新人戦県大会 ベスト32
西部地区選抜選手 1名選出

男子バドミントン部

R6新人戦西部支部予選会シングル第12位 県大会出場
西部支部新人大会(団体戦) 準優勝

女子バドミントン部

R5学校総合体育大会ダブルス西部支部予選第8位 県大会出場
R5新人大会西部支部予選ダブルスベスト16県大会出場

バレーボール部(男子)

全国高等学校総合体育大会 県大会出場

バレーボール部(女子)

全国高等学校選手権大会西部支部予選出場

山岳部

丸山、武甲山、御前山、甲斐駒ヶ岳、棒ノ折、南山、堂平山 に登頂

ソフトボール部

校内活動を中心に活動

バトン部

全国高校ダンスドリル選手権大会2023 全国大会出場
USA Nationals2022 全国大会出場

書道部

第63回埼玉県硬筆中央展覧会 特選賞
第77回埼玉県書きぞめ中央展覧会 特選賞
第63回埼玉県高校書道展 出品

美術部

第67回埼玉県高校美術展 出品
文化祭にて展示発表

吹奏楽部

第65回埼玉県吹奏楽コンクールAの部 銀賞
第48回埼玉県アンサンブルコンテスト 県大会クラリネット6重奏 銀賞
第31回JBA埼玉県部会管打楽器ソロコンテスト本選 金賞
第6回定期演奏会開催

文芸部

部誌『木霊』を年4回発行
文化祭 過去30年の文芸冊子「木霊」の展示、「木霊」文化祭号の配布

生物部

黒目川水質調査(7月)
生物観察・採集(飯能・日和田山)

化学部

文化祭での実験演示

物理部

文化祭にて展示等発表

地学部

文化祭にて展示(プラネタリウムの実施)
地学巡検、夏冬天台合宿、月見・星見の会実施

写真部

西部地区写真展・朝霞市総合文化祭写真展 出品
文化祭にて展示

演劇部

埼玉県高等学校春季演劇祭西部A地区 出場
第41回埼玉県高校総合文化祭西部A地区 奨励賞・創作脚本奨励賞
他 文化祭で上演、自主公演等の実施

放送部

昼休みの校内放送、各行事の放送担当

家庭科部

文化祭で作品展示・販売

華道部

春草流の先生にご指導いただき活動
季節に合わせた生け花やフラワーアレンジメントを校内に展示

茶道部

お稽古(週1回)お茶会形式のお稽古(学期に2回)
文化祭参加

ギター部

7月戸田翔陽・三郷北高校と合同ライブ
8月朝霞西高校と合同ライブ

漫画研究部

文化祭誌「赤烏帽子(あかえぼし)」発行
文化祭で作品展示、販売
部活連絡用ホワイトボードのイラスト制作

ジャズバンド部

LOVE JAZZ TIME 2024参加
さいたまJAZZフェスティバル4th参加

卒業生は今…

カナダから



十九期生
高橋 あゆみ

一九八四年卒の私たちの世代は、エネルギー溢れる団塊世代と比べ「無気力、無関心、無責任」とか個人主義だとか言われ、当時の高校生自らもそんなフレーズを引用していた記憶があるのですが、朝高は色々な面において「自分で決めて選ぶ」環境があり、自由に伴う責任や、個性を楽しむ人間関係をいつの間にか学んだように思います。運動部で厳しい練習を続けるのも、授業が終わればさっと学校を後にして趣味やバイトに時間を費やすのも、受験勉強に励むのも多くの朝高生にとって自分次第だったのではないのでしょうか。

高校時代の私は学業はそつちのけで、(今考えると無謀にも)二年生から初心者で始めた部活のバスケットボ

ールや、趣味の音楽や読書に明け暮れる日々を過ごしました。卒業後は大学や仕事でイギリス、香港、カナダに住み、いつの間にか人生の三分の二を海外で過ごしています。現在は、カナダ人の夫と共にトロント市内で非営利団体の合気道と剣術の道場を運営し、稽古、指導をしています。

日本の武道は心身両面を鍛え平和を重んじると、カナダの小中学校で勧められて来る子どもや、合気道は試合がないのでマイペースで続けられると入



門してくる大人が多くいます。カナダは約二百カ国からの移住者が暮らしているため様々な文化背景を持つ人がいて、一緒に学んだり指導をしていくのは一筋縄ではいきません。国のポリシーもそれぞれの文化や言語を尊重し共存しようというもので、英語が公用語でも出身国や家庭によってマナーや「常識」が違います。

たとえば、よく遅刻したり、遅れてきてものんびりしてなかなか畳に上がって来ない人を注意しても反応は様々。「遅れたけど、すごく疲れていたのをがんばって稽古に來たんだから評価してください」、「カナダでは時間厳守が良いのは分かっていますが、ぼくの故郷では待ち合わせ時間はゆるくて一、二時間待つこともあるが大勢に影響はありません」等々。こちらは顔は厳しくても心では爆笑です。指導側は、みんなの個性を受け入れながらも叱咤激励し、時には「ま、いつか」と押し付け過ぎないことも大切。

そんなことを楽しみながらチャレンジもしながら、そこがすっかり私の居場所となっているのは、朝高時代の環境や人との関わり方の影響が大きいような気がします。ここ数年、同窓会だよりが届いたり、ソーシャルメディアで同期や先生方と繋がる機会があり、ますますそう感じています。

体操部のOB・OG会に参加して



二十期生
本郷 健一

コロナ禍もあり開催延期していた朝霞高校体操部のOB・OG会が、昨年十月に開催され、懐かしい仲間たちと再会することができました。私は現在、福岡で金融関係の会社に勤務しており、福岡から参加しましたが、久しぶりにお会いした皆さんが生き生きと活躍されている姿に触れ、本当に素晴らしいと刺激を受けました。また朝霞高校正門の樺の木が驚くくらい大きくなったと聞いて、卒業から四十年の時間が経ったのだと感慨深くなりました。

高校時代の体操部での経験は、会社での営業、商品開発、マーケティングなど様々な業務に生かされてきたと感じています。毎日の練習を通じて、忍耐力や集中力、そしてチームワークの大切さを学び、特に難しい技に挑戦する際の失敗と成功の繰り返しは、しっかり分析し諦めずに努力し続けることの大切さを身に染みて学ぶことができました。

朝霞高校の自立した生徒を育ててい

く伝統的な素晴らしい中には、部活動を通じて生徒の自主性を養う方針にもあると思います。在校生の皆さんも部活動に積極的に打ち込んで、成功や失敗体験を積み、困難を乗り越える力や仲間との協力の大切さを学ぶ機会としていただければ嬉しく思います。

あの頃と今、 そしてこれから…



四十五期生

水迫 裕美
(旧姓 抜井)

高校の大先輩であり、中学時代の担任の先生から、同窓会だよりのご連絡をいただきました。それは、忙しい日々の中で立ち止まり、これまでの人生を振り返るきっかけを与えてくれる出来事になりました。

高校への進学を決めた理由は、「文武両道」という校風に魅力を感じたこと。そして、十歳から続けていたゲートボールを続けられる環境が整っていたことも大きな決め手でした。在学中はバドミントン部と兼部し、正直なところ、少し勉強をおろそかにしてしまっただけ面もあったと思いますが、それ以上に仲間と過ごした日々は、かけがえ

のない財産となりました。

現在は二児の母となり、歯科業界に携わりながら、育児と仕事に追われる毎日を過ごしています。そんな日々の中で、学生さんたちの姿を見かけると、「今を全力で楽しんで！無限に思える時間も振り返ればあっという間だよ」と心の中でつぶやいてしまうことがあります。

仲間と笑い合い、ときには悩みを分かち合いながら支え合った高校生活は、今の私の土台となり、人生の大切な宝物です。SNSで気軽に繋がれる時代ではありますが、だからこそ、先生をはじめ同窓たちと顔を合わせ、改めて「出会い直す」時間を持ちたいと思うようになりました。いつかあの頃の思い出や、今の私たちについて語り合える日を心から楽しみにしています。そしてそんな日を想いながら、今日という日を大切に過ごしていきたいと思っています。

朝霞高校が繋げてくれたこと



五十四期生

五十嵐 愛香

高校を卒業して、六年が経ちました。

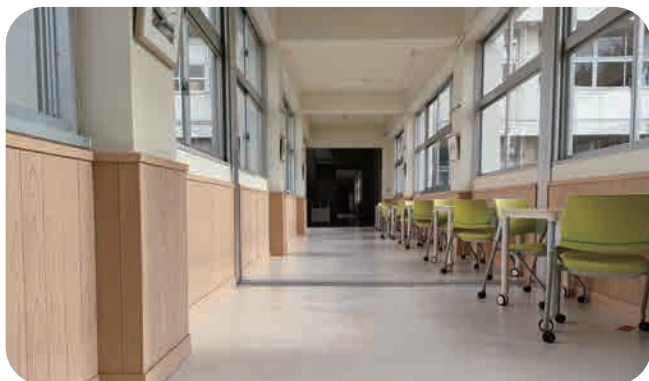
部活はギター部に所属し、初めてロックバンドに触れました。部員の演奏を聴いたり、バンド仲間と演奏したりすることを通して、ロックバンドが好きになり、今では友達と音楽フェスに行くこともあります。

また、朝霞高校若櫛（現・若櫛Kakayaki）に所属し、よさこいにも励みました。所属して四年目の時に、彩夏祭で鳴子大賞を受賞できたことは忘れられない思い出です。よさこいが大好きで、彩夏祭は毎年の楽しみです。

大学は指定校推薦で入学し、就職活動では、公務員保育士を目指していました。しかし、受験した市区町村全てが不合格となり、二月になっても就職先が見つからない状況でした。その中で、大学の先生からの紹介で現在は、幼稚園教諭として、クラスの担任をしています。今となつては、この幼稚園に就職することができて、本当に良かったです。園の先生方の働く姿に感心し、「保育」「子ども」「発達」について知識を広げたいと思うようになりました。また、朝霞高校を卒業された保護者の方がいらっしゃり、嬉しく思いました。

朝霞高校が繋げてくれた縁を大切に、新しいことに挑戦しながら成長していきたいです。

令和6年11月 特別教室棟改修工事が完了して、設備、設備が新しくなりました。（令和7年は管理棟が新しくなります。）



通称:朝高カフェ 埼玉県産スギの木材を生かした渡り廊下(2F)



コンピューター室(2F)

(2022年3月~2025年2月)

[illegible]

令和3年度会計報告

収入の部

科目	予算額	決算額	差引増減	説明
入会金	921,000	921,000	0	57期終身会費3,000円×307名
寄付金	5,000	2,548	-2,452	購読協力金
繰越金	3,112,440	3,112,440	0	前年度繰越金
雑収入	60	26	-34	利息
合計	4,038,500	4,036,014	-2,486	

支出の部

科目	予算額	決算額	差引増減	説明
総務費	300,000	226,165	-73,835	令和3年度事務局代行費等 113,960 ホームページ更新料金等 110,000 総会通知郵券 2,205
補助費	50,000	10,106	-39,894	バトン部全国大会激励費
雑費	40,000	0	-40,000	
予備費	2,963,517	0	-2,963,517	
合計	3,353,517	236,271	-3,117,246	

収入総額
4,036,014

支出総額
236,271

差引残高
3,799,743
(2022年(令和4年)度に繰り越し)

令和4年度会計報告

収入の部

科目	予算額	決算額	差引増減	説明
入会金	951,000	948,000	-3,000	58期終身会費3,000円×316名
寄付金	5,000	662,245	657,245	購読協力金
繰越金	3,799,743	3,799,743	0	前年度繰越金
雑収入	60	17	-43	利息
合計	4,755,803	5,410,005	654,202	

支出の部

科目	予算額	決算額	差引増減	説明
総務費	3,000,000	2,994,444	-5,556	令和4年度事務局代行費等 105,666 ホームページ更新料金等 110,000 同窓会だより19号 2,776,253 総会通知郵券 2,525
補助費	50,000	0	-50,000	
雑費	40,000	0	-40,000	
予備費	1,665,803	0	-1,665,803	
合計	4,755,803	2,994,444	-1,761,359	

収入総額
5,410,005

支出総額
2,994,444

差引残高
2,415,561
(2023年(令和5年)度に繰り越し)

令和5年度会計報告

収入の部

科目	予算額	決算額	差引増減	説明
入会金	942,000	939,000	-3,000	59期終身会費3,000円×313名
寄付金	5,000	8,893	3,893	購読協力金
繰越金	2,415,561	2,415,561	0	前年度繰越金
雑収入	60	20	-40	利息
合計	3,362,621	3,363,474	853	

支出の部

科目	予算額	決算額	差引増減	説明
総務費	300,000	291,218	-8,782	令和5年度事務局代行費等 172,211 ホームページ更新料金等 115,500 のし代 237 総会通知郵券 3,150 同窓会だより送料 120
補助費	50,000	10,000	-40,000	陸上部全国大会激励費 5,000 美術部全国大会激励費 5,000
雑費	40,000	0	-40,000	
予備費	2,972,621	0	-2,972,621	
合計	3,362,621	301,218	-3,061,403	

収入総額
3,363,474

支出総額
301,218

差引残高
3,062,256
(2024年(令和6年)度に繰り越し)

同窓会費改定のお知らせ

令和7年度より、卒業時の終身同窓会費を3,000円から4,000円に改定させていただくこととなりました。昨今の印刷費・送料の高騰に加え、会員数の増加に伴う諸費用の増大により、現行の会費体系を維持することが困難となったためです。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

購読協力金改定のお知らせ

表紙にも記載させていただきましたが、「同窓会だより」の継続発行のため、購読協力金を1口1,000円から2,000円に改定いたしました。こちらも併せてご理解とご協力をお願い申し上げます。

OB・OG会近況

ラグビー部OB会

朝霞高校ラグビー部OB会も、足から八年目を迎えました。ある夏、菅平を訪れた際、偶然にも母校のラグビー部が合宿を行っており、現役時代の思い出が一気によみがえりました。その一方で、現在の部の状況を知り、寂しさも感じました。そこで、「OB会を立ち上げよう」と決意し、今日に至ります。

この八年間で、期を超えたつながりが広がり、今ではSNS等を通じて二百名以上のOBの皆様と交流を持てるようになりました。OBの皆様のご支援のもと、現役生のサポート、公式戦情報の発信・共有、試合の応援、OB戦の開催など、さまざまな活動を行っています。二〇二四年には、皆様からの会費を活用し、スクラムマシンやボールを寄贈しました。また、夏合宿では差し入れを届けるなど、可能な限りのサポートを続けています。

春と夏にはOB戦を開催し、現役生とともに汗を流しています。母校のグラウンドで、先輩・同期・後輩とともにプレーする時間は、かけがえないものです。私たちの礎を築いたこのグラウンドで再び集い、ラグビーを通じてつながることの喜びを改めて感じています。

朝霞高校ラグビー部は創部六十年を迎えました。この長い歴史の中で、母校のグラウンドを駆け抜け、今は世界各地で活躍するOBの皆様。ぜひOB会にご参加いただき、共にラグビー部を支えていきましょう。二〇二五年も引き続き、全力で活動してまいりますので、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

* * *

朝霞高校ラグビー部OB会
会長 金内勇治
(二十七期／一九九二年卒)
問い合わせ先: yujikane@ck9.so-net.ne.jp

バスケット部OBOG会

令和六年十月二十七日、一回のバスケット部OBOG会が、コロナ禍後初の昼の部が朝霞高校体育館で開催されました。還暦を過ぎた十四期から卒業して間もない五十六期まで、まさに老若男女総勢約四十名が同じコートで試合形式でのプレイできるなんて、歴史ある高校運動部ならではの思い出だと思います。流石に四十二才違いの各世代では玉石混合でスピード感がありにも違いすぎ怪我をしないか心配でしたが、そこは優しい後輩たちが手加減をしてくれ、たおかげで無事にバスケットをやりきることができました。

また赤ちゃん連れの応援のファミリーも何組も来校していました。が世界



代が幅広すぎてパパママの応援がジイジババの応援かわからないくらい、の和やかな雰囲気を楽しめました。

さて夜の部ですが、今までは居酒屋でしたが今回は志木駅南口「ベルセゾン」宴会場で行い、こちらは十一期から二十六期までの四十四名と当時顧問の先生二名と昼の部以上に人数が集まり、各期別の自己紹介やお楽しみ抽選会で盛り上がり気持ちだけは十代に戻れた二時間はあっという間に過ぎました。

今後は幹事をはじめ運営の中心が五十才以上になってしまったので、もう少し若いメンバーに引継ぎができればと考えています。

最後に、現在夜の部参加者の数名を中心に和光市総合体育館で月一回軽い練習会をやっています。誰でも参加できますので二十才から四十才代のバスケットに興味のある方、当時部活に入っていないくても大丈夫です。上下関係は全くありません。す。お気軽に参加お待ちしております。

編集後記

この度、皆様のお手元に同窓会だより第二十号をお届けできる運びとなりました。皆様のご支援に、編集部一同、心より感謝申し上げます。

母校の特別教室棟は改修工事を終え、美しく生まれ変わりました。表紙の階段の写真は生徒会制作、題字背景は隣に建ったマンシヨンの写真です。時の流れを感じますね。

時代の変化は早いのですが、同窓生の皆様との繋がりは、いつまでも大切にしていきたいと願っております。同窓会だよりが、皆様の交流の一助となれば幸いです。



同窓会だより 創刊号

総会

役員募集のお知らせ

同窓会では、今後の活動をより一層充実させるため、役員を募集しております。ご興味のある方は、ぜひご連絡ください。

今後とも、同窓会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【第二十期同窓会予告】

《一九八五年(昭和六十年)卒》
二〇二六年四月四日(土曜日)
朝霞市民会館にて
十五時から同窓会集会
十七時から十九時宴会